



## ジャガー・ルクルトが贈る「The Golden Ratio Musical Show

—黄金比を讃える音楽祭— in ロサンゼルス

音と光のスペクタクルを4日間にわたり一般公開

TØKIO MÆRS 作曲のオリジナルシンフォニーで

美を定義する数式をたたえるイベント

ジャガー・ルクルトは、6月22日から25日まで、ロサンゼルスにおいて「The Golden Ratio Musical Show—黄金比を讃える音楽祭—」を開催します。インスパイアリングな野外ステージで上映されるこの壮大な音と光のスペクタクルは、私たち人間が本能的に惹かれる美的調和を定義するユニークな数式—黄金比—をたたえるものです。これまでの常識を覆す画期的な曲作りで知られるイギリスのミュージシャン、TØKIO MÆRS が、「Made of Makers」プログラムを通じてジャガー・ルクルトから依頼を受け、このショーのために特別なサウンドトラックを作曲しました。

### 新しい文化的背景の中でデザインを披露

この「The Golden Ratio Musical Show—黄金比を讃える音楽祭—」で、ジャガー・ルクルトは、デザインと時計製造に関する文化的な会話を弾ませ、20世紀のデザインアイコンとして広く認められているレベルソ ウォッチのレンズを通して、両者の本質的なつながりを探求し続けます。この映像ショーのために特別にデザインされた「1931 Cinema」は、レベルソが誕生したアールデコ時代のスタイルと雰囲気深く浸ることができる舞台セット。ノマド的な「1931 Café」が提供する軽食もショーでの体験をさらに盛り上げます。サンタモニカ大通りのウェストフィールド・センチュリー・シティにオープンエアで建設されるこの屋外カフェのコンセプトも、世界初のドライブインシアターへのオマージュとなっています。1933年にオープンしたこの新しい形のエンターテインメントが、後にアメリカの大衆文化に深く浸透し、根付いていきます。

### 心を虜にする音と光のショー

「1931 Cinema」での最大の呼び物が、水が流れ落ちる巨大スクリーンに映し出される壮大な音と光の競演「The Golden Ratio Musical Show—黄金比を讃える音楽祭—」です。この10分間の作品では、黄金比のストーリーが4つの章で展開されます。自然を観察し、最も美しい形をつなぐ隠れた調和を発見したことから、美の神秘的な特性を科学的に調べ、その幾何学を定義する探求が、ファイ ( $\phi$ ) としても知られる数式 1.618 の発見につながるまでの道のりを辿ります。その道のりは、さらに、



この「黄金数」や「神の比率」が文化史、建築、芸術にどのような影響を与えてきたかを探りながら続いていき、最後に、黄金比の精神を最も雄弁に表現するアールデコ運動の絶頂期に作られた「レベルソ」が紹介されます。

#### 今回のために特別に制作された **TØKIO M¥ERS** によるサウンドトラック

この「The Golden Ratio Musical Show—黄金比を讃える音楽祭—」でジャガー・ルクルトは、近年最も独創性のあるアーティストとして世界的な名声を博しているイギリスのミュージシャン兼作曲家、**TØKIO M¥ERS** にサウンドトラックの制作を依頼しました。英国王立音楽院を卒業し、クラシック音楽と映画、ヒップホップ、ダンス、90年代のソウルミュージックなどの影響を融合させた実験的な作風で知られる **TØKIO M¥ERS** はまた、ピアニスト、パーカッショニストとしても優れた才能を発揮しているだけでなく、圧倒的な音域とダイナミックなパワーが特徴の演奏家でもあります。時代やジャンルを超えた曲作りを通して、彼は、過去と現在の対話を生み出し、クラシック音楽のあり方を再定義しています。

スイスのジュラ山脈にあるジャガー・ルクルトのマニファクチュールで過ごした時間からインスピレーションを得た **TØKIO M¥ERS** は、「デジタルプロジェクションの感動を増幅させるという明確な意図を持って」新しい作品を書き上げたと言います。彼はこの作品を「聴き手を力強い旅に誘う、4つの章（楽章）で構成される短い交響曲」と表現しています。「黄金比」のテーマを増幅させ、1.618という数字を1分間に161.8拍というテンポに変換しました。「私は、黄金比を作品全体のドライビングテンポとして取り入れました。これまでこのテンポで書いたことはありませんでしたが、上手く書けたと思っています」と **TØKIO M¥ERS** は語っています。

#### ワールドツアーの最初の開催地

「The Golden Ratio Musical Show—黄金比を讃える音楽祭—」は、上海でのデビューに続き、ロサンゼルスで皮切りにワールドツアーが始まります。このイベントは、6月22日、**TØKIO M¥ERS** が自身のサウンドトラックを披露するライブパフォーマンスが行われる招待客限定のガラで幕を開けます。彼はまた、ロサンゼルスを拠点にヨーロッパやアメリカ各地の一流オーケストラで活躍する世界的な音楽家が集結し、高い評価を得ている **L.E.Orchband** と共演します。この後、**TØKIO M¥ERS** は、彼のソロパフォーマンスを極めてダイナミックなものにしている代名詞ともなっている照明演出を交えて、自身の他の楽曲によるコンサートを行います。

ロサンゼルスでの開催期間中、「1931 Cinema」は6月22日から25日まで無料で一般公開され、全く新しい文化的背景の中でデザインと時計製造を体験する機会が提供されます。「1931 Cinema」の開館時間は、午前10時から午後10時まで、「The Golden Ratio Musical Show—黄金比を讃える音楽祭—」は、午後7時に始まり、午後10時まで20分間隔で上映されます。



「1931 Cinema」と「The Golden Ratio Musical Show—黄金比を讃える音楽祭—」は、ロサンゼルスに続き、2023年中にロンドンとドバイで開催されることが決まっています。

---

### TØKIO M¥ERS について

ロンドンに生まれ、ジャマイカにルーツを持つ TØKIO M¥ERS（本名 トーヴィル・ジョーンズ）は、彼曰く、「音楽、ダンス、自己表現をとっても大切にす」一家で育ちました。9歳の頃、父親が買ってくれた中古の電子ピアノに彼は「完全にのめり込んだ」と言います。そして、その才能によって英国王立音楽院の奨学金を獲得しました。TØKIO M¥ERS は 2017 年、オーディション番組の『ブリテンズ・ゴット・タレント』で一躍脚光を浴び、Syco エンターテインメントのサイモン・コーウェルとレコード契約を結びました。2018 年のデビューアルバム『Our Generation』は、全英アルバムチャートで 4 位となり、伝説的ミュージシャンであるロバート・マイルズ以降、ゴールドディスクを獲得した初のピアニストとなりました。これまでに、カニエ・ウェスト、エイミー・ワインハウス、スティング、ジョン・レジェンド、ソウルファンクバンドの Mr Hudson and The Library、2CELLOS など、多くのアーティストのサポートを努めています。また、クラシック・ブリット・アワーズの「ブレイクスルー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」を受賞し、コモンウェルスゲームズの公式ソングを手掛けました。彼が英国と、ラスベガスの MGM グランド・アリーナをはじめ国外で行ったコンサートは完売となりました。また、ドバイ首長の招待を受けてブルジュ・アル・アラブの公式オープニングでも演奏を行いました。最近では、昨年の FIFA ワールドカップ カタールでの 2 つのヘッドラインショーに招かれ、パフォーマンスを披露しました。今年の後半にはソロピアノアルバムを、2024 年の初めにはエレクトロ/シネマティックのセカンドアルバム『Our Generation II』のリリースを予定しています。

---

### ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカーとして知られるマニファクチュールは、1,300 を超えるキャリバーの制作と 400 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。180 種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさを独特で控え目な洗練を組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。

---

[jaeger-lecoultre.com](http://jaeger-lecoultre.com)